

学校だより



はと広場

教育目標 進んで学び 高め合う 北小の子
あかるく なかよく すこやかに

11月号 令和7年10月31日 NO.7

さいたま市立北浦和小学校

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和2丁目18-3

電話 048-831-2463 FAX 048-835-1352

【児童数】 821名 【学級数】 29学級

あいさつは心を繋ぐ合言葉 ～一挨拶～

いちあいいっさつ

校長 引間 陽子

キンモクセイ、ギンモクセイが満開を迎えた秋本番の装いの中、10月18日（土）に、秋季運動会が執り行われました。晴天の下、教職員が円陣を組んで高らかに掛け声を合わせ、チームの士気が一段と高まったことを体感した開幕となりました。トップバッターは、磨きのかかったマーチングバンドの演奏からスタート。会場が一気に興奮高い雰囲気を纏いました。次々と、各学年の種目が展開され、熱い声援や拍手喝采となりました。観客を楽しませる演出の数々も加わり、子どもたちの活躍が存分に光り輝き、観る者のハートをわしづみする見応えや感動、感激に浸ったように感じました。手応えのある学校行事となりました。ありがとうございました。

さて、本校では年間生活目標として、『あいさつ』『返事』『素直な心』を掲げていますが、『あいさつ』『返事』については、日頃より子どもたちに投げかけ、挨拶、返事のできる子どもたちになってほしいと願います。登校指導の際に、進んで挨拶をしてくれる子どもたちに励まされています。校内でも明るく挨拶、静かに会釈等、場面に応じて柔軟に挨拶できるよう、指導していきます。挨拶が上手にできるということは、非認知能力の向上となり、大事にしたい態度です。

本市の取組でも、学校、家庭、地域社会において、コミュニケーションの基礎となる、『心を潤す4つの言葉』『おはようございます』『はい』『ありがとうございます』『ごめんなさい』を推進しています。また、『心を元気にする4つの言葉』『大丈夫、大丈夫？』『自分を信じて』『ちょっとずつでいいよ』『また明日』も推進しています。どちらの言葉も大切にしたい言葉です。

では、「なぜ、挨拶をするのか。」と問われると、その質問の答えはなかなか難しいものです。『一挨拶（いちあいいっさつ）』という言葉があります。禅宗の言葉で、師匠と弟子が互いの心を試す押し問答を指します。これが現代の「挨拶」の語源とされており、お互いの悟りの深さや修行の度合いを確かめ合ったことに由来します。本来は厳しい真剣勝負だったそうですが、厳しさの中にも、互いの心を深く推し量り、通じ合うという心の交流が含まれていることです。現代では、人と人が心を通わせるための第一歩と解釈されています。心を開くことと心に近づくことを意味しているようです。

「挨」（あい）…相手に近づく、心を開く。 「拶」（さつ）…相手に迫る、相手の心に近づく。

お辞儀（会釈）も中国から伝わった挨拶の一つで、礼儀や労いの意味を込めて、攻撃の意志や敵意がないことを表したこととされています。1つ1つの挨拶言葉の語源・由来というと、「おはよう」は「お早うございます」と書き、自分よりも先に出てきている人に労いの気持ちが込められているそうです。「ありがとうございます」は有難うとなり、有るのが難しい、滅多にあることではないと感謝を表します。「はい」は、拝という言葉が由来という説が有力で、敬意をもって受けけるという意味合いのようです。子どもたちにも由来を伝えていき、「あかるく」「いつでも」「さわやかに」「心をつなごう」の合言葉で、挨拶があふれる北浦和小を目指します。

保護者の皆様、地域の皆様、引き続き、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

